

# NIGATA



2023  
2/19  
No.2785

## 市報にいがた

編集・発行/新潟市広報課 〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1 ☎025-226-2089  
※掲載情報は2月9日時点のものです

| 令和5年2月19日 | 第1・3週 日曜発行 |  
\*第2・4・5週の発行はありません。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 目次 CONTENTS

#### | 特集 |

1・2 **新しいビジネスが生まれるまちにいがた**

3 **にいがたCITY NOW**

- G7機運醸成に向けた催し
- マイナンバーカード申請はお早めに
- 市職員採用説明会
- 基本的な感染対策の徹底を

4 ● ひな人形を見に行こう

5 **連載 もっと知りたい! G7 ニイガタで始める。**

**新潟空港を利用しませんか**

他3ページは区役所だより「情報ひろば」は別冊で発行しています



## 新しいビジネスが生まれるまち

# にいがた



新潟IPC財団ビジネス支援センターでの相談の様子



コーヒーかすを使用したマグカップ

新潟市は、市内での起業・開業や、新製品・新事業の開発に向けた取り組みを支援しています。今号では、新潟市の中小企業支援について取り上げます。

問産業政策課

(☎025-226-1610)

▼ **新潟で生き生きとビジネスを**  
当財団は起業以外のビジネスの相談も受け付けています。事業を続ける中で感じる不安や疑問を一緒に解決できるようサポートしますので、気軽に相談してください。皆さんのアイデアが事業としてより良いものになり、新潟で生き生きとビジネスができるよう、これからの最大限の支援をしていきます。

▼ **起業前後を手厚くサポート**  
起業に必要な資金は、多くの場合、金融機関から借入れ入れます。借入れの審査では明確な事業計画が必要で、「どんな書類を準備したらいいのか」「資金がいくら必要かわからない」と悩む人が多くいます。  
当財団では、起業支援の経験が豊富な専門家が、事業内容や販売戦略、資金計画などを一緒に整理します。起業後に経営などで悩んだ場合も、商品の見直しや事業再構築といった、個々の状況に合わせてさまざまな支援を行います。

▼ **起業希望者が増えている**  
今、新潟市内で起業を希望する人が増えています。これまで企業などに勤めていた人が、技術や経験、人脈を生かした起業を相談するケースが多く見られます。新潟市には、そのような起業希望者を後押しする制度があります。

### 起業家や中小企業を応援

公益財団法人  
新潟市産業振興財団  
(新潟IPC財団)



ビジネス支援センタープロジェクトマネージャー  
山崎 寛和さん

### ビジネスのことならどんなことでも相談を

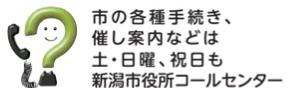
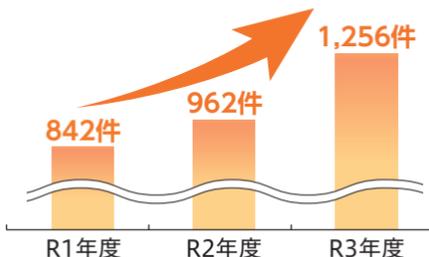
※相談は事前予約が必要。  
詳しくは同財団ホームページに掲載

☎月～金曜 8時半～17時半  
(祝・休日、年末年始除く)  
場 NEXT21・12階(中央区西堀通6)  
電話番号 ☎025-226-0550



スマートフォンはこちら

新潟IPC財団への起業・開業相談件数



新潟市の人口・世帯数 (1月末住民基本台帳人口。かつこ内は前月との比較) 人口/773,072人(-842)  
男 372,173人(-419) 女 400,899人(-423) 世帯数/347,437(-172)

年中無休8:00~21:00

こたえてコール 025-243-4894  
FAX 025-244-4894 Eメール 4894call@call.city.niigata.jp

新潟県新型コロナ受診・相談センター  
☎025-385-7634  
(24時間対応。土・日曜、祝日も受け付け)